

～被扶養者向け健診～

乳がん・子宮頸がん検診を受けましょう

検診を受ける
機会を逃さない!

がんは早期に発見し、早期に治療するほど治る確率も高くなります。とくに乳がん・子宮頸がんは早期発見により、治りやすいがんです。検診のお知らせをもらったら、ぜひこの機会を逃さず受けるようにしてください。

受診のめやす 乳がん………1年に1回／40歳以上／マンモグラフィまたは超音波(エコー)
子宮頸がん…1年に1回／20歳以上／子宮細胞診

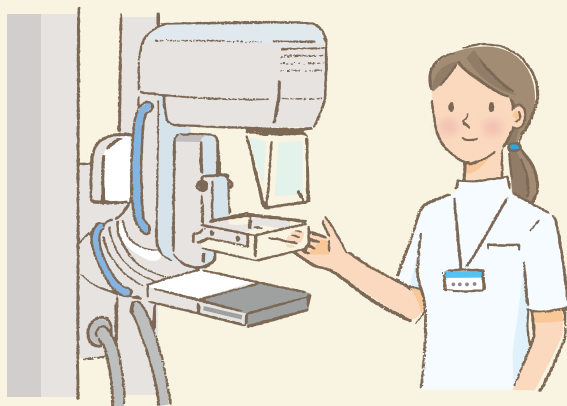
受診するには ご自宅に郵送しております「健康診断のご案内」(イーウェル)より、健康診断の申込みの際にオプションとしてお申込みください。

自治体でも、住民であれば受けられるがん検診を実施しています。対象年齢の方には無料クーポンを送付しているところもありますので、詳しくはお住まいの自治体にお問い合わせください。

・検診の概要・

乳がん検診

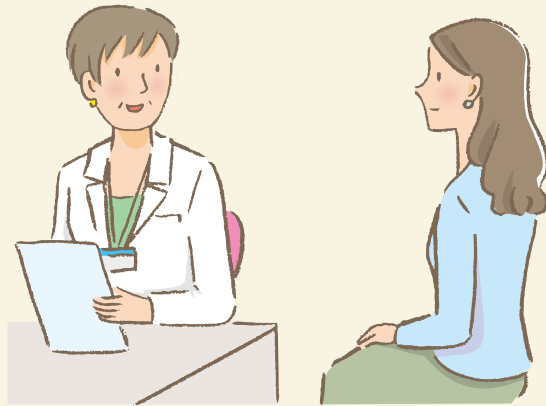
診察時間は10～20分。2～4週間程度で検査結果が分かります。



- 1) 問診
- 2) マンモグラフィー…透明なプラスチックの板で乳房を圧迫してX線撮影します(数十秒程度)。生理前1週間を避けると痛みが少ないことがあります。
- 3) 超音波(エコー)…プローブと呼ばれるセンサー(超音波)を当て、乳房内からの反射(エコー)を画像にして観察します。放射線被ばくがないため、妊娠中の方も受けることができます。

子宮頸がん検診

診察時間は10～20分。4～6週間程度で検査結果が分かります。



- 1) 問診
- 2) 視診
- 3) 内診…医師が子宮頸部の状態を目で確認、子宮全体と卵巣・卵管などを触ってチェックします。
- 4) 細胞診…子宮頸部の表面を綿棒などで軽くこすり取った細胞を顕微鏡で調べます。痛みはほとんどありません。

その他のがん検診も受けましょう

乳がん・子宮がん以外にも要注意! いずれも日本人に多いがんです。婦人科検診と同様、これらのがん検診も定期的に受けましょう。

肺がん

女性は非喫煙者にも多いので、たばこを吸わなくても安心できません。

胃がん

最近は減少傾向にありますが、まだまだ患者数の多いがんです。

大腸がん

女性のがん死亡者数トップ。ライフスタイルの変化によって増えています。

※受診するには … 乳がん・子宮頸がんの申込みと同様にオプションにてお申込みください。